

若手社会人・学生からの意見について

1 調査方法

平成27年7月から8月にかけて、県内外の若手社会人・学生187人から意見を聴取した。

2 主な意見

(将来像 I) 魅力を磨き人・ものを惹きつける「いしかわ」

- ・新幹線開通で今年は観光客が増加し首都圏からの流入も増えたが、いつまでもこの効果が続くわけではないと考えている。反対に首都圏の利便性や首都圏への若者の憧れは変わらないままなので、石川から首都圏への流出が増えることを懸念している。
- ・観光客のリピーターをつかめるようなPRも必要である。
- ・石川県は観光産業がメインであり、食のPRを積極的に行うべき。
- ・石川県は日本海側の中心に位置しており、新幹線・道路に加え、海・空の海外へのアクセスを整備することで、日本海側における中心都市となれる。

- ・歴史や文化を守りつつ、文化の創造も必要である。
- ・地域の歴史や特産品の掘り起しとともに、石川県の魅力の周知が必要である。
- ・学生と住民がもっと交流活動をおこなえるよう支援に力をいれてほしい。
- ・近年、中国・東南アジアから嫁ぐ人が増えている。外国人が住みやすい地域づくりも必要である。

- ・学生の就職時の転出を防ぐためには、地域に対して愛着を持つことが大切である。
- ・県内企業の魅力や実際にUターンした人の実体験や成功事例などの情報を、県外での説明会開催や求人情報の掲出を通じて、積極的に発信すべき。
- ・魅力的な雇用の場づくり、一旦東京で就職した人が戻るサポートの充実、住みやすさのPRなど、UIターンしやすい環境整備が必要。
- ・UIターン用の求人センターをつくることも有効ではないか。企業側にもUIターン希望人材がわかる場所があるとよい。
- ・若者、独身、若年夫婦が暮らしやすいような交通の整備、コンパクトなまちづくりに取り組み、県内で生活したいと思わせることも大切である。

(将来像Ⅱ) 成長を実感でき働く人が輝く「いしかわ」

- ・石川県にもともと優位性がある産業分野に注力し、雇用の場づくりに取り組めば、優秀で野心的な人を惹きつけられるのではないかな。
- ・補助金や税優遇などに取り組み、企業が進出しやすい環境・魅力ある県にしていく必要がある。
- ・企業誘致はもとより、小規模や個人事業者の起業・継承支援に取り組むことも重要である。
- ・就職後も自己成長できるような企業、石川の自然や文化を活かし大切にする企業を増やすことが必要。

- ・県内の先進的な取り組みを参考にブランド化を図ってはどうか。
- ・農林水産など地域を支える基幹産業の担い手を確保していくために、労働環境の改善、処遇改善が重要である。
- ・昔ほど山の整備が行われなくなっており、森林などの整備の充実を図ってほしい。担い手の確保が重要であり、小中学生が興味を抱くような企画などを行ってほしい。

(将来像Ⅲ) 安全・安心とやすらぎを感じる「いしかわ」

- ・全国の模範都市として、防災や危機管理を基軸としたイベントや取り組みを通じて、地域振興を図れるとよい。
- ・犯罪が広範囲で行われるようになり、高齢者を狙った犯罪が後を絶たない。巡回や主要な場所での防犯カメラの設置などが必要である。

- ・若い世代に結婚のメリットを示していくことが必要。
- ・異性と巡り合う機会づくりや県外の都市から人を呼び込む取り組みが必要。
- ・保育料を大幅に軽減するといった経済的な支援や、保育園や幼稚園をはじめ、安心して子どもを預けられる場を充実させることが必要。
- ・高齢化が進む中で、バスの充実、道路の改良、無電柱化など、安心安全で便利な公共交通の充実が必要である。

- ・子どもが少なくなる中で、一人ひとりの個性が地域の活力を高めることになる。教育の水準を上げていくことが重要である。
- ・石川県出身者には「地元に戻りたい」という思いを持つ人も多く、優秀な人も多い。もっと教育に力を入れ、特色をもたせてはどうか。